

冬の訪れを告げるストーブ列車の運行に合わせ、津軽鉄道サポーターズクラブが11月27日(日)、津軽中里駅の駅ナカにぎわい空間でストーブ列車の点火祭を開催し、関係者をはじめストーブ列車のファンら約200人が来場しました。

サポーターズクラブが今年の活動報告をした後は、交流会を行いました。交流会では、津軽スコップ三味線の家元・館岡屏風山氏の演奏が行われ、会場には笑いと拍手が響きました。また、一緒にスコップ三味線を体験した来場者らは、すぐにコツを覚え楽しそうに演奏していました。

最後は、スイングアーツによる演奏と歌謡ショーが行われ、会場は盛り上がりました。参加者らは「スコップ三味線を体験してみたが楽しかった。今度は、ストーブ列車に乗って遊びに来たい」と話していました。



## 漬物名人の漬け方を披露

駅舎漬物まつり



漬物が美味しくなる季節、津鉄応援直売会と町の生活改善グループが、12月4日(日)津軽中里駅「駅ナカにぎわい空間」で駅舎漬物まつりを開催しました。

大沢内駅舎ではじまったこのまつりは9回目となりました。

開会式では、主催する津鉄応援直売会と町生活改善グループを代表して、佐藤イネ子さんが「私たちは、この地域を少しでも元気づけたいとこのような活動をしている。今年もおいしい漬物ができた。最後まで楽しみましょう」とあいさつしました。

漬物まつりでは、実演を通じて美味しい作り方を紹介しています。今回は、漬物名人の手っこを紹介と題して「らっきょう酢漬」の作り方を実演しました。来場者たちは、名人の技を学ぼうと聴き入っていました。

また、会場では、もちつき大会ともちの振る舞いや漬物、野菜などが販売され、地元住民や津軽鉄道の利用者などが楽しみました。

